

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2002-508116(P2002-508116A)

【公表日】平成14年3月12日(2002.3.12)

【出願番号】特願平11-507239

【国際特許分類第7版】

H 0 1 S 5/042

【F I】

H 0 1 S 5/042 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり


【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成 年 月 日
17.5.26

特許庁長官殿

- 1. 事件の表示 平成11年特許願第507239号
- 2. 補正をする者
 名称 マキシム・インテグレートッド・プロダクツ・インコーポレートッド
- 3. 代理人
 識別番号 ~~100064621~~
 郵便番号 100-0014
 住所 東京都千代田区永田町2丁目4番2号
 秀和溜池ビル8階
 山川国際特許事務所内
 電話 03(3580)0961(代表)
 氏名 6462 山川 政樹 
- 4. 補正対象書類名 請求の範囲
- 5. 補正対象項目名 請求の範囲
- 6. 補正の内容 請求の範囲を、別紙の通り補正する。



請求の範囲

1. 半導体レーザ駆動電流を供給する回路であって、

差動入力を形成する第1および第2の入力線を有し、第1の線上の電圧が第2の線上の電圧よりも高い場合にレーザ駆動電流を供給する一方、第2の線上の電圧が第1の線上の電圧よりも高い場合にレーザ駆動電流を供給しないレーザ駆動回路と、

差動信号に応答して、レーザ駆動電流を供給すべきである場合にレーザ駆動回路の第1の入力線上の電圧をアクティブにプルアップし、レーザ駆動回路の第2の入力線上の電圧をアクティブにプルダウンし、レーザ駆動電流を供給すべきでない場合にレーザ駆動回路の第1の入力線上の電圧をプルダウンし、レーザ駆動回路の第2の入力線上の電圧をプルアップするアクティブ差動プルアップ/プルダウン回路と

を含んでいるレーザ駆動回路。

2. 半導体レーザ駆動回路において、

第1および第2の電源接続と、

エミッタ、ベースおよびコレクタをそれぞれ有する第1、第2、第3および第4のトランジスタとを含んでおり、

第1および第2のトランジスタのエミッタが共に第1の電流源を介して第2の電源接続に結合され、

第1のトランジスタのコレクタがレーザ・ダイオード接続に結合され、レーザ駆動電流をそれに供給し、

第2のトランジスタのコレクタが第1の電源接続に結合され、

第3および第4のトランジスタのエミッタが第2の電源接続に結合され、

第3および第4のトランジスタのコレクタが第1および第2のトランジスタのベースにそれぞれ結合され、

第3および第4のトランジスタのベースが差動制御電圧を受け取るように結合された半導体レーザ駆動回路。